

フィジー

主要データ

国名〔英名〕	フィジー共和国〔Republic of Fiji〕
面積(km ²)	18,274
海岸線延長(km)	1,129
人口(人)	915,303
人口密度(人/km ²)	50.1
GDP(十億 US\$)	4.56 (2014 年推定値、出典：CIA The World Factbook)
一人当り GDP(US\$)	4,977.59
主要鉱産物：鉱石	金、銀、ボーキサイト
主要鉱産物：地金	なし
鉱業管轄官庁	国土鉱物資源省鉱物資源局 (Ministry of Lands and Mineral Resources、Mineral Resources Department：MRD)
鉱業関連政府機関	なし
鉱業法	Mining Act、Mineral Policy
ロイヤルティ	ロイヤルティは FOB ベースで徴収。ボーキサイトと鉄は 3%、その他の鉱物は 5%。
外資法	Foreign Investment Act、Foreign Investment Regulation
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	Environment Management Act 2005
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	Vatukoula Gold Mines、Xinfa Aurum Exploration Fiji
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2016 年のトピックス	インドネシアのボーキサイト輸出禁止に伴い中 Xinfa Aurum Exploration Fiji 社がフィジーでのボーキサイト開発・輸出を開始したが、価格の低迷により 2016 年のボーキサイトの出荷は同年 9 月の 1 度だけであった。同社はボーキサイト鉱山の操業は継続し貯鉱をしている状況であり、価格の改善後に輸出予定である。

1. 鉱業一般概況

鉱業の主要生産物は金、銀及びボーキサイトである。探鉱は金、銅、亜鉛、ボーキサイト及び磁鉄鉱砂を対象として実施されている。

2. 鉱業政策の主な動き

鉱物資源局が鉱業法のロイヤルティ及び地権者の権利に関するレビューを実施中。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

僅少

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出货量

表 3-2. 主要金属輸出货量

鉱種	2014 年	2015 年	2016 年	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国
金 (t)	1.2	1.2	-	-	オーストラリア、ニュージーランド
鉛					
鉱石 (t)	43.5	0.0	-	-	インド
地金 (t)	42.0	0.0	-	-	インドネシア

(出典) : Global Trade Atlas

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 主要金属輸入量

鉱種	2014 年	2015 年	2016 年	対前年 増減比 (%)	主な輸入相手国
アルミニウム 地金 (t)	18.66	0.98	-	-	-

(出典) : Global Trade Atlas

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種	生産量	備考
Vatukoula Gold Operation	Vatukoula Gold Mines (100)	金	2,000kg	・生産能力。 ・長期的な金の生産目標として 10 万 oz/年(約 3,000kg/年)を掲げている。
Nawailevu, Lekutu, Dreketi	Xinfa Aurum Exploration (Fiji) (100)	ボーキサイト	800,000t	・生産能力。 ・Xinfa 社は中国企業。 ・ボーキサイトは全量中国へ輸出されている。

(出典) : USGS Minerals Yearbook 2014 等)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱状況一覧

プロジェクト名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	探査 ステージ	場所	概要/最近の動向
Cakaudrove	Geopacific Resources (100)	金, 銅	初期探鉱	Vanua Levu 島東部	2012年、メインターゲットとなる2つの有望地域を確認。2016年、探鉱権を3年間延長。
MBA Delta Iron Sands	Amex Resources (100)	鉄	建設中	Viti Levu 島北西部	砂鉄(titanomagnetite)鉱床。概測資源量：220mt、品位：Fe 10.9%。精鉱生産量目標値：750kt/年。2016年5月に港湾の建設を開始し、2018年5月に工事が完了予定。
Nabila	Geopacific Resources (100)	金	探鉱	Viti Levu 島西部	予測、概測資源量：355kt (Au 1g/t Cut-off)、品位：Au 2.18g/t。2012年、地化学探査、トレンチ調査及び空中物理探査(ZTEM)で確認された導電体への試錐を実施。2014年、探鉱権を3年間延長。
Nakoro	Thunderstruck Resources (100)	亜鉛, 銅	初期探鉱	Viti Levu 島南部	VMS 鉱床。ポーリング調査実施中。
Namosi	Newcrest Mining (71、パレタ)、三菱マテリアル (27) 日鉄鉱業 (2)	銅, 金	後期探鉱及びプレFS	Viti Levu 島南東部 Suva 西北西 34km	2013年、Waivaka Corridor の試錐を実施。2014年、ポーリング調査を実施。推定埋蔵量：1,330mt、品位：Au 0.12%、Cu 0.37%。2016年現在、水等に係る詳細な環境影響評価(EIA)実施中。
Rakiraki	Geopacific Resources (50、パレタ)、Peninsula Minerals (50)	金	後期探鉱	Viti Levu 島北部	予測資源量：613kt、品位：Au 1.2g/t。2012年、地上電磁探査、トレンチ調査を実施。同調査でQalau地区において14.9m間1.5g/t Au等を確認。2013年、Tataiya及びTramways地区において土壌及び岩石地化学探査を実施。2016年11月、探鉱権を3年間延長。
Tuvatu	Lion One Metals (100)	金	建設中	Viti Levu 島北西部 Nadi 北東 16km	2014年6月、再評価した資源量を発表。予測資源量：1.51mt (Au 3.0g/t Cut-off)、品位：Au 9.7g/t。概測資源量：1.1mt (Au 3.0g/t Cut-off)、品位：Au 8.46g/t。2015年5月、採掘権を取得。
Sigatoka	Dome Gold Mines (100)	鉄	探鉱	Viti Levu 島南西部	Sigatoka 砂鉄鉱床：2015年3月プレFSを完了。予測資源量：5.9mt、品位：Fe 11%。概測資源量：25mt、品位：Fe 11.6%。 Kulukulu 砂鉄鉱床：予測資源量：100.7mt 品位：Fe 17%。
Sabeto-Vuda	Geopacific Resources (100)	銅, 金	後期探鉱	Viti Levu 島北西部	2013年、ポーリング調査を完了。斑岩鉱床の存在を確認。IP探査を2016-2017年に実施。2013年、探鉱権を3年間延長。その後、2016年に探鉱権の延長を申請。
Wainaleka	Thunderstruck Resources (100)	Zn, Cu	初期探鉱	Viti Levu 島南部	VMS 鉱床。ポーリング調査を実施中。

(出典)：各社HP

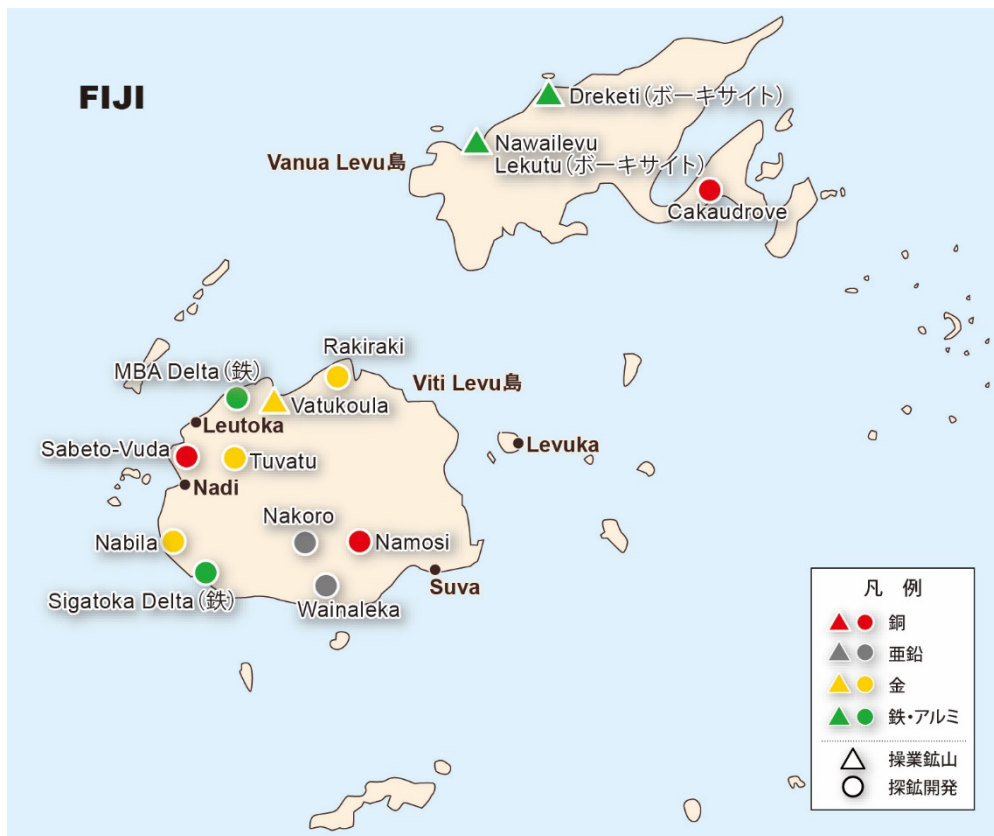


図 1. 主要鉱山、探鉱プロジェクト位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

実績なし

(2) 日本企業による投資状況等

Namosi Joint Venture (Namosi, Waivaka Corridor で探査が進行中)

位置 : Viti Levu 島 Namosi (Suva の西北西 34km)

鉱床 : ポーフイリー型(鉱種 : 銅・金・モリブデン)

権益 : Newcrest Mining (71%)、三菱マテリアル (27%)、日鉄鉱業 (2%)

探査 : 2010 年 Q4 及び 2011 年 Q1 に Waivaka West および Waivaka Corridor にて浅部の高品位部をターゲットに探査を実施。

2011 年: Waivaka Corridor の探査を継続。Waisoi のプレ FS を実施。

2012 年: Waivaka Corridor 及び Waisoi の探査を継続。

フィジー政府は鉱山開発には環境影響評価 (EIA) が必要と判断したため、現在 EIA を実施中。

動向 : Newcrest Mining Ltd. は 2007 年 7 月にオプション探鉱契約を締結し参入。同社は 2009 年 6 月までに 2,150 万 A\$ の探鉱費を支出し 65% の権益を獲得。加えて同社はフィジー政府の承認を得て日鉄鉱業分の 4.94% 権益を追加で取得し、さらに三菱マテリアルの権益希釈により、71% の権益を保有するに至った。

2017年2月、Namosi Joint Ventureのプロジェクトマネージャーが、フィジー議会の天然資源常設委員会において、鉱山開発でNamosi地域が生じる利益について説明を実施したと報じられた。同社が鉱山の操業を開始すれば736名のフルタイムの雇用がすぐに生み出され、また、操業開始から4年で雇用は2,000名のピークに達する等を説明。

7. その他トピックス

Thunderstruck Resources 社の Aljen 社買収

2016年10月、カナダのThunderstruck Resources社は、フィジーのAljen (Pacific)社の買収を完了。Aljen社は亜鉛、銅及び金が賦存する鉱区を保有。今後、Thunderstruck社はNakoro、Liwa Creek及びRama Creekにおいてマッピング、地化学探査及びトレンチングによる探鉱を実施予定。

Resource Group Advisory (Fiji) 社、Mount Kasi において金の探査を予定

2017年3月、Resource Group Advisory (Fiji)社は、2017年4月までにMount Kasi 金鉱山において探鉱を開始する予定であると報じられた。同社はNewcrest Exploration Fiji (NEFL)社から引き継いだ探鉱ライセンスに基づき3年間探鉱を実施することとしている。

ボーキサイト鉱山からの排水で海が変色したと地元住民が主張。鉱山側は否定

2017年3月、XINFA Aurum Exploration Fiji社のDreketi地区のNaibuluボーキサイト鉱山から前週の激しい降雨により排水が海に流れ込んで海が赤く変色したと地元住民が主張していると報じられた。住民は同鉱山の堆積池の水が溢れて海に流れ込んだと主張するがXINFA社は否定。

AMEX Resources 社、河口の砂州において砂鉄の探鉱を予定

2017年5月、AMEX Resources社はフィジーのRaviravi地区とVatutavui地区の間にあるBa川の河口の砂州において砂鉄の探査を実施する予定であると報じられた。
(同社は2017年5月にWaratah International (Asia)社に買収された)

(2017.9.30 シドニー事務所 山下 宜範)